



関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会を開催!

栃木県建設業協会 青年経営者連合会



挨拶する湯澤信会長（山梨県）



通常総会・意見交換会の様子



「採用・育成・定着を促す思考」



委員会の事業活動発表

令和7年9月26日、ホテルブリランテ武蔵野（さいたま新都心）で令和7年度関東建設青年会議通常総会と関東地方整備局との意見交換会が開催されました。

通常総会の冒頭、主催者を代表し、関東建設青年会議の湯澤信会長（山梨県）は、「建設業界は働き方改革や技術革新、24年問題など多くの課題に直面している。中でも少子高齢化が進む社会において、若い世代に建設業の魅力をいかに伝えていくかが重要なテーマである。こうした変化の時代において、関東建設青年会議は業界の羅針盤としての役割を担い、今後も魅力発信を強化し、若い世代へのアプローチをさらに広げていきたい」と述べました。引き続き通常総会の議事に入り、令和6年度の実施事業や、全国建設青年会議第29回全国大会について報告されました。令和7年度の事業計画には、①建設産業における情報交換の推進策として、関東地方整備局との情報交換を積極的に行うこと。②持続的な建設産業の推進策として、建設産業を取り巻く諸問題について情報を幅広く収集し、建設生産システムの効率化などに向けた研究を行うこと。③効果的な社会貢献活動の発信方法の研究を進めること。④災害対応に関する取り組みとして、首都直下型地震への備えと建設業がいかに行動し、他の地域と連携できるか研究すること。⑤全国建設青年会議第30回全国大会への参画、等が提案されました。議案については、出席者の満場一致で承認となりました。

総会後に行われた関東地方整備局との意見交換会では、建設産業向上委員会の塚本委員長（群馬県）、建設産業情報発信委員会（CTI）の長山委員長（茨城県）から、各委員会の2年間の取り組み内容の報告のほか、「採用・育成・定着を促す思考」、「若手入職者の確保に向けて」をテーマに、人材の確保と活用、若年層に対する効果的なアプローチの仕方等についての発表が行われました。続いて、関東地方整備局企画部の米村企画調整官から、「関東地方整備局の取組について」をテーマに、働き方改革と担い手確保、災害対応への取り組み等についての講演が行われました。最後に、関東地方整備局の田中企画部長から、「今後とも青年会議の皆様との連携・協力を深め、建設業をより魅力ある産業として発展させていきたい」との講評が述べられました。意見交換会の終了後には、懇親会も行われ、盛大なうちに終了となりました。